

〈二面より続き〉

点から重要な課題であると考えられる。国においても、太陽や風力といった再生可能な自然エネルギーを、基幹エネルギーの一つに加える方向が示された。

県としては、現在、実施している中小企業向けの省エネ設備補助の対象に、太陽光発電設備などを追加する予定である。

今後、国の動向も注視しつつ、一般家庭も含めた再生可能エネルギーの導入促進策を検討していきたい。

### 学校の耐震化

学校耐震化の推進と、公立学校施設の防災機能を高めていく必要があると思うがどうか。

県立学校施設の耐震化については、「千葉県耐震改修促進計画」と、同計画に基づくプログラムに沿って、平成二十七年までに改修を行うことを目指している。今後とも、できる限り前倒しで工事を行うなど、早期の耐震化に努めていく。

市町村立学校については、国の補助制度等を活用しながら、耐震化の推進が図られるよう、市町村に積極的に促していく。

また、公立学校施設が、地域の避難所としての役割を果たしていくため、施設の耐震化を進めるとともに、特に市町村防災担当部局との連携を深めながら、防災計画における位置付けや、機能の明確化など、公立学校施設の防災機能の充実を図っていく。



## 5月臨時県議会 各常任委員会の 主な質疑から

### 総務防災常任委員会

今後、補正予算編成が必要な場合の財源はどのように確保するのか。

災害復興・地域再生基金約二十一億円等の取り崩しや、退職手当債などの特例的な地方債の活用のほか、事業手法の見直しや執行の中止・延期などにより、一般財源ベースで五パーセントを目標とした事業費の節減に取り組むことに対応する。

### 総合企画水道常任委員会

「がんばろう千葉」キャンペーンの基本的な取り組みと、今後どのように展開していくのか。

キャンペーンは、大きく分けて、応援隊の結成と、各種イベントを通じ、気運の醸成を図る取り組みであり、ちば産品応援隊には、五月十日現在で、二千三百名の個人、七十四団体の申し込みがあり、現在も増えている。今後は、節電の問題や観光分野などで、第二・第三の応援隊を打ち出していきたい。

### 健康福祉常任委員会

被災した障害者福祉施設や介護施設などへの支援は、どのように取り組んでいくのか。

社会福祉施設等災害復旧費国庫補助の制度を活用し、障害

者福祉施設では、一億五千九百万円、介護老人保健施設では、五千四百万円、通所介護施設等では、五千五百万円、これに保育所と特別養護老人ホーム等の分をあわせ、十二億三千万円の五月補正予算を計上し、各施設の早急な復旧整備がなされるよう支援していく。

また、激甚災害に指定されれば、国の補助が最大で十分の九となるので、今後の指定の動向をみながら、しっかりと対応していきたい。

### 環境生活警察常任委員会

放射線量などについて、さまざまな情報が出回っている。県民の安心のために、県として情報を発信する必要があると思うがどうか。

県民が安心できるよう、測定や評価、情報提供の方法などについて、市町村とも連携しながら、早急に検討していきたい。

### 商工労働企業常任委員会

震災後のゴールデンウィーク中の観光客の入込状況は、昨年と比較してどうか。

ゴールデンウィーク中の県内の主な観光施設と宿泊施設を調査したところ、前年との比較で、観光施設は一六パーセントの減少、宿泊施設は一五・七パーセントの減少であった。

### 農林水産常任委員会

液状化により被災した農業用水パイプラインについて、国の

助成対象とならない四十万円未満の小さい被害も助成対象とするよう、国と協議すべきと思うがどうか。

農業用水パイプラインについては、国と協議を行い、個々の破損箇所ではなく、揚水機場単位で助成対象となるようにした。また、国の助成対象とならない四十万円未満の被害については、市町村助成に対する補助制度もあるため、市町村等に制度の周知を図っているところである。

### 県土整備常任委員会

宅地開発などの土地造成事業における液状化対策はこれから課題であるが、今後、どのような対策をとる必要があると考えるか。

液状化については、今回の大震災の影響を受けて、国においても法令改正等に向けた検討を行っているというので、注視しながら適切に対応していきたい。

### 文教常任委員会

液状化により県立浦安南高校は大きな被害を受けたが、液状化による被害はそのほかに何かあったのか。

また、今回の液状化による被害の復旧については応急的なものであり、今後、しっかりとした対策が必要と考えるがどうか。

県立浦安南高校を含めて九校に被害があった。復旧に関しては、今回の補正予算でしっかり対応し、今後の対策については、担当部局の液状化に対する調査・分析等を踏まえ検討していきたい。

### 五月臨時県議会

#### 可決・承認・同意された議案

- ◆平成二十三年度補正予算関係(六件)
- ▽一般会計
- ▽特別会計(五件)
- ◆条例の制定
- ▽千葉県災害復興・地域再生基金条例
- ◆条例の廃止
- ▽千葉県公共施設整備基金条例
- ◆その他
- ▽専決処分の承認(七件)
- ▽監査委員の選任同意(二件)

#### 可決された意見書

- ▽液状化対策の充実を求める

#### 意見書

- ▽東日本大震災の復興支援と総合的な復興ビジョン策定を求める意見書
- ▽安全で安心な食肉の供給を求める意見書
- ▽津波対策の推進に関する法律案の早期成立を求める意見書
- ▽地上デジタル放送に関する意見書
- ▽公立学校施設における防災機能の整備の推進を求める意見書

### 千葉県議会ホームページ

#### ●インターネット中継

本会議等の様子をインターネットで生中継、録画中継の公開をしています。(※録画中継は本会議等終了後、2日程度(土・日・祝日を除く)で、ご覧いただけます。)

千葉県議会ホームページからアクセスできますので、ぜひご利用ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>



## 東日本大震災復旧・復興対策特別委員会 調査報告



千葉市美浜区の被災現場

東日本大震災復旧・復興対策特別委員会では、5月31日、6月2日の2日間にわたり、我孫子市、浦安市、習志野市、千葉市美浜区、香取市、旭市、山武市、九十九里町など、地震による津波や液状化で特に被害が大きかった地域の現地調査を実施しました。

大地震の発生から約3カ月が経過し、がれき撤去や上下水道、道路等インフラの応急対策はおおむね進んでいるものの、地域によっては、津波や液状化による傷跡が今も生々しく残されており、あらためて被害の大きさを痛感しました。

今後、被災から立ち直り、災害に強く、安心して暮らせる元気な千葉県とするため、現地の状況や被災者の要望などを踏まえ、議論を重ね、定例県議会等において必要な提言をしてまいります。